

関西医科専門学校 2025 年度臨床教育者会議（オンライン質問会） 質疑応答内容

2025 年 3 月 12 日(水)17 時 30 分～18 時 30 分 合計参加施設： 15 施設 質問対応：山根

質問者	質問内容	回答内容
A 病院 (近畿)	業務時間が 7 時間半。1 日 9 時間を確保するために自宅学習を増やすべきか、週 6 日実習参加すべきなのか。	施設内での課題作成に加え、学生に必要と判断される課題を提示いただき、自宅での時間外学習時間を課題作成時間として実習時間の補填が可能。
B 病院 (近畿)	動画では午前と午後で課題作成時間を 30 分、1 日 1 時間程度の学習時間となっていたが、施設側の裁量で課題作成を行う時間は調整してもよいか。	実習時間内で振り分けても、まとめて確保する場合でも、施設の裁量で問題なし。
	1 日 8 時間の実習時間+1 時間の課題作成時間を必ず確保する必要があるか。	1 週間の実習時間は 45 時間、1 日 9 時間が目安。課題に関しては、必要と判断される課題を提示していただきたい。
	感染対策として、マスクとアイガード、アルコールの準備を学生にお願いしているが対応可能か。	可能。学生閲覧情報への表記と、学生からの電話連絡時に伝達していただければ問題なし。
C 病院 (近畿外)	祝日はできる限り調整とあるが、どこまで出席してもらったらよいか。	指導者が出勤している際に学生も実習に参加するというのが一番調整しやすいかと思われる。週 5 日実習参加し、1 週間で 45 時間を確保することが理想。多少の時間減は学内実習で補えるように調整している。
	当院は症例発表の機会を設けていない、動画では症例ディスカッションを勧められていたが、実施した方がよいか。	紙面作成は必須ではない。症例ノートをもとにアウトプットするだけでもよい。また症例発表形式をとる必要もない。卒後に臨床で働くことを想定し、カンファレンスなど口頭でのアウトプットを行う場面をイメージして表出練習としていただきたい。総合実習では可能な限り実施していただきたい。
	評価サマリーは学校で作成したことがあるか。	講義において作成練習を複数回実施している。
D 病院 (近畿)	症例ノートは SOAP 法での記載が指定されているが、他のまとめ方の練習は実施しているか。	SOAP 法以外の実施方法であれば、必ず学生にご指導いただきたい。
	症例レポートは課題とはしていないか。	症例レポート・レジュメともに課題としていない。講義でも症例レポートは作成していない。作成が必要とされる場合は、必ず実習時間内での作成としていただきたい。本校では実習後に症例発表も行っていない。